

乳腺・甲状腺・内分泌外科 スタッフ紹介

専門分野 乳腺

田口 恵理子

出身地 埼玉県
趣味 時短料理、ピアノ
好きな言葉 為せば成る 為さねば成らぬ 何事も



患者さんへの一言

丁寧な説明を心掛け、納得のいく治療を提供できるよう尽力いたします。

専門分野 乳腺

浮池 梓

出身地 熊本県
趣味 運動、外遊び、旅行
好きな言葉 生きてるだけで丸儲け



患者さんへの一言

誠意を込めて診療いたします。

専門分野 甲状腺、内分泌、乳腺

風間 高志

出身地 東京都
趣味 音楽鑑賞
好きな言葉 人間万事塞翁が馬



患者さんへの一言

安心して治療をお受けいただけるように取り組んでまいります。

専門分野 乳腺

伏見 淳

出身地 東京都
趣味 将棋、ゴルフ
好きな言葉 Hope for the best and prepare for the worst.



患者さんへの一言

皆さんが長く健康に暮らせるように、全力でサポートいたします。

TOPICS 中央検査部 どの様に検体の結果を出しているの？

中央検査部とは、国家資格を持った臨床検査技師が正確かつ安全に検査を行う部門で、採血や尿、生化学、血液、生理機能、細菌、遺伝検査などを実施しています。また当検査室は、国際認定基準のISO15189認定を取得しており、品質と能力を国際的評価により認定されています。

■検査の流れ

検査の受付は、2階2Aに4台設置された自動受付機で行います。中央検査部と放射線部の検査が一括で受付できる方法を日本で初めて構築し、検査の順番を検査ごとに取りに行かなくて済むようになりました。ただし生理機能検査（心電図、呼吸機能、脳波、超音波検査など）では2Aで自動受付した後に2Jでも受付が必要です。

採血室では1日600～1,000人の採血が行われますが、システムにより患者照合を行い、患者誤認の防止に努めて

います。また全ブースで車いす対応が可能です。採血室の後ろには採血した検体がすぐに測定できるよう、多くの最新の検査機器が設置され迅速に検査を行っています。

中央検査部では、夜間休日を含め24時間体制で安全で安心いただける検査室として、検査過誤防止に取り組んでいます。ご不明・ご不安な点がございましたら、お近くの職員にお聞きください。



すこやか

No. 75 2024

インフォメーション

慈恵大学病院だより



特集

乳腺・甲状腺・内分泌外科の診療のご紹介

スタッフ紹介

乳腺・甲状腺・内分泌外科

TOPICS

中央検査部 どの様に検体の結果を出しているの？



乳腺・甲状腺・内分泌外科 の診療のご紹介

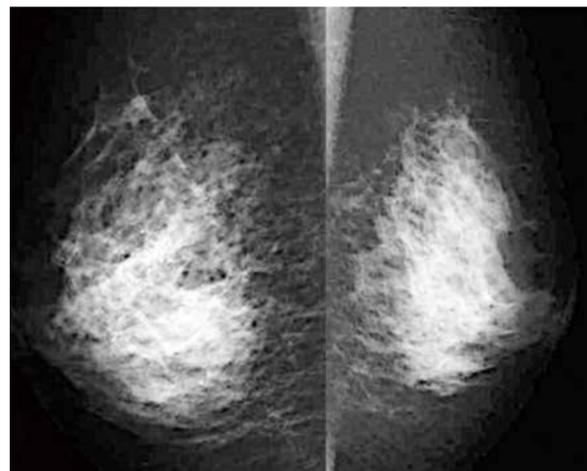
乳腺・甲状腺・内分泌外科では、主に乳がん、甲状腺がんの診療をしています。本日は女性の罹るがんで最も頻度の高い、乳がんの検診、診断についてご紹介いたします。

乳がん検診

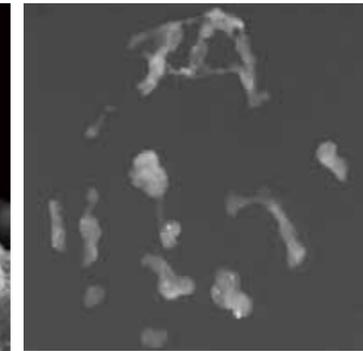
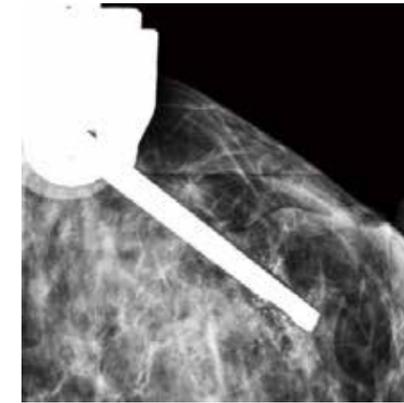
我が国では、女性の9人に1人が乳がんにかかると報告されています。乳がんは30歳代後半からかかる人が増え始め、45～74歳が最もかかりやすい年齢です（がん情報サービス ganjoho.jp）。国は、乳がんによる死亡率が減少する効果が認められた検診として40歳から2年に1回の問診と乳房エックス線検査（マンモグラフィ）を推奨しています。40歳になると、お住まいの自治体から乳がん検診のお知らせが届きます。こうした自治体の検診の他にも、会社の検診、当院の人間ドックなどをご利用されるといいでしょう。当院の人間ドックでも乳房エックス線検査と乳房自動超音波装置を導入しております。ご希望の場合、人間ドック申し込みの際にお伝えください。

外来との連携もスムーズで非常に便利です。

また、“ブレストアウェアネス”といって日頃からご自身の乳房を意識した生活をすることも大事です。“検診で精密検査をすすめられた”または、ご自身で“なんかいつもと違う？しこりかな？”など症状があるときは外来の受診をおすすめいたします。日本は欧米と比較すると検診の受診率が低く、日本乳がん学会の年次報告（最新2020年）によると2cm以下のしこりで手術を受けた割合は57.5%、2～5cmのしこりで手術をうけた割合は33.1%でした。2cm以下での発見率がもっと上がるように私どもは検診をおすすめいたします。病気が軽いと治療も軽くてすみます。



■マンモグラフィ写真
右の乳房に白い点々（石灰化）があります。



■採取後

石灰化のある部分をマンモグラフィで見ながら採取します。MRIでしかわからない場合は当院ではMRIガイド下生検も可能です。

乳がんの診断と治療

適切な診断と治療のおかげで乳がんはがんの中でも予後が良好で、5年生存率は90%を超えます。マンモグラフィ、乳房超音波、乳房MRIなどの画像検査で、乳がんの範囲を評価し、病理診断（針生検組織の顕微鏡による評価）によって本当に乳がんなのか？どのような性格の乳がんか？（女性ホルモンへの感受性があるか？HER2たんぱくがたくさんあるか？）を評価します。乳がんの性格によっては抗がん剤が必要な時もありますが、治療する確率が高いことも報告されています。当院では抗がん剤による脱毛を予防するために頭皮冷

却キャップを導入したほか、院内の美容室におけるウィッグ、自毛のケアも以前から行っております。治療中の悩みはがん相談支援センターにご相談いただくことも可能です。当院の特徴は一つの科や職種で解決できないことも、たくさんの診療科（たとえばリハビリ科、放射線科、遺伝診療部）や職種（薬剤師、理学療法士、放射線技師、看護師、事務スタッフなど）とiPhone一つでつながって迅速に対応できるということではないでしょうか。こんな病院他にあるのでしょうか？いつでも困った時は外来にご相談ください。



■乳腺・甲状腺・内分泌外科スタッフ一同